

平成25年度 福井県立大学大学院
経済・経営学研究科博士前期課程
入学者選抜試験問題（第1次）
専門科目
経済理論・経営理論分野

以下の問1と問2から1問を選んで解答しなさい。

問1 【経済理論】

短期の市場を想定した完全競争企業について、次の（1）（2）に答えよ。平均費用曲線や平均可変費用曲線はU字型とする。

- （1）この企業が生産する商品の市場価格が、損益分岐点よりも低く操業中止点（閉鎖点）よりも高いとする。この時、企業は生産を継続するか、あるいは中止するか。企業にとって合理的な生産量水準、利潤（もしくは損失）の総額、および回収できる固定費用の総額を図示して答えよ。
- （2）しばしば、野菜農家が生産した野菜を出荷せずに畑に鋤（す）き込んでいる姿がニュースで映し出される。この理由を説明せよ。

問2 【経営理論】

企業経営において、競争戦略をどのようにとらえるかは、重要な問題である。現代の競争戦略をとらえるには、第一にグローバル化が進展する中で、なにがどのように変わってきているか、どのようなことが特徴点になるかを見ておくことが必要であろう。競争戦略を打ち出すには、マイケル・ポーターの5F（ファイブ・フォース）図式が参考になるかもしれない。これは、企業の競争環境を規定する要因として、①新規参入業者、②代替品の存在、③売り手の競争優位性、④買い手の競争優位性、⑤競合他社に注目せよ、と教える図式である。また、近年の競争戦略の一環として、企業の強み弱み分析（リソース・ベースト・ビュー：SWOT分析）が重視されている。

これらのことなども参考にして、今日の企業の競争状況においては何が特徴となるか、競争をとらえる上で考慮すべき要因とは何か、市場競争から抜け出て優位な位置に立つには、どのようなことが必要になるか、自らの考えを述べよ。